

有浦小学校
火災応急対策

プレハブ仮校舎が完成

市および市教育委員会では、12月17日の市立有浦小学校の火災に対し、早急にその対策を検討、12月24日に臨時議会を招集のうえ、応急対策費として7,983万2千円を一般会計に計上し、プレハブ式仮校舎の建築を決定、授業については、冬休みと出校日の振替えにより、冬休み中の東中学校の教室を借りて行うなど、児童の教育に支障のないよう万全を期しております。

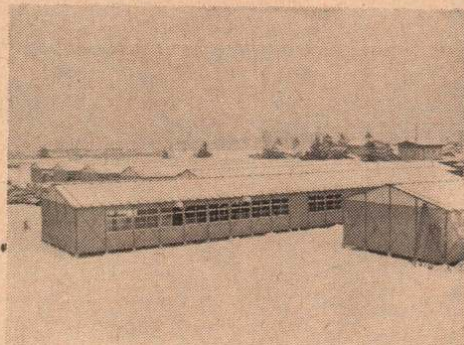
災難にめげず

元気に勉強

有浦小学校では、校舎を焼失したことにより、本校舎の完成までプレハブの仮校舎を建築することとし、現校地の有浦スポーツ館側に12月28日から急ピッチで工事がすすめられ、1月いっぱいまで完成、2月1日から同校舎での授業が開始されました。校舎焼失後仮校舎完成までは、冬休みを第1次(12月20～1月3日)第2次(1月21日～1月31日)に分け、冬休み中の東中学校の教室を借りての変則授業を行ってまいりましたが、校舎の焼失を登下校のたびにがめては「これからどうなるだろう」との児童たちの心配な表情も、仮校舎の建築がすすむにつれ次第に安堵の表情に変わり、今では災難にもめげず元気に勉強しています。

仮校舎は、総工費6,500万円で、普通教室18、特別教室3、特殊教室2、それに職員室の総面積2,228平方メートルのプレハブ平屋建となっており、有浦スポーツ館を廊下でつないで体育館として利用しております。

今後は、本校舎建築(総工費約7億円の見込み)の計画に着手、52年度着工を予定しており、児童たちが1日も早く

完成した
プレハブ仮校舎

狭苦しい仮校舎から抜け、のびのびとした授業の出来る本校舎の早期完成を目ざして全力を尽すことにしております。

よせられた

かずかずの愛の手

有浦小学校の火災に対し、各地区の方々からたくさんのおたがひのお見舞がぞくぞく寄せられております。心からお礼を申し上げます。

【教育委員会扱い分】

鹿角市・鹿角市教育委員会 50,000円
大館建築設計協会 50,000円
大曲市学校警備員組合 3,000円
小坂町・小坂町教育委員会 20,000円
東北電力大館分會青年部 14,070円
丸谷正巳さん(根下戸町) 150,000円

才信工務店(美園町) 柱時計 1個
一条金庫店(常盤木)キャビネット 1台
田村教材社(扇田)OHPスクリーン1台
山波教育機器(末広町)トラベンアップ一式 (135,000円相当)

【有浦小学校扱い分】

飯塚教材社(御成) 20,000円
石井教材社(相模町) 5,000円
秋教組本部 20,000円
キタダバック(盛岡市) 10,000円
大館テニスクラブ 30,000円
石田靴店(花岡) 2,000円
城南小学校PTA 206,706円

東中学校の教室を借りて
元気に勉強する児童たち

田村教材社(扇田) 5,000円
桂城小学校PTA 51,000円
東中学校PTA 64,825円
阿仁第一中学校 16,000円
有浦小1年D組保護者一同

小笠原精肉店(御成) 21,000円
大館三中第二期卒業生18名 5,000円
教育公務員弘済会 14,000円
内田洋行さん(東京都) 30,000円
伊藤昭二さん(狐台) 3,000円
山口典子さん(愛宕町) 10,000円
木村盛次さん(栄町) 10,000円
小池和雄さん(幸町) 10,000円

12月臨時市議会

一般会計に有浦小
応急対策費を計上

12月24日に臨時市議会が招集され51年度一般会計補正予算案1件を提出し、原案どおり可決され終了しました。

これは、12月17日の有浦小学校の火災に伴うもので、歳入では特別地方交付税の3,378万2千円と火災保険料の4,605万円、計7,983万2千円を追加、歳出には教育費に、有浦小学校火災応急対策費として、仮校舎建築工事費等7,983万2千円が追加されました。この補正により、昭和51年度一般会計の総額は歳入歳出それぞれ、69億850万9千円となりました。

松本幸三・チエ子さん(釈迦内)

20,000円
福岡澤さん(桜町) 5,000円
保坂陽子さん(秋田市) 3,000円
納谷金一さん(清水町) 50,000円
石川アサさん(向町) 10,000円
大館カトリック教会 10,000円
秋教組大館北支支部 折タミ子35脚(110,000円相当)

秋田県学校生活協同組合 自動電子血圧
秋田県教育用品株式会社 測定器(100,000円相当)

名村運動具店(御成)トレパン100着
相原薬局(御成三) 救急薬品一式(30,000円相当)

鎌田俊郎さん(住吉町) マシンテーブル事務机、椅子(100,000円相当)
村上一雄さん(有浦六丁目) 電動オルガン1台

工藤正治さん(御成町二) オルガン1台
森岡 昭さん(有浦町) 電子コピー1台(200,000円相当)

【児童会扱い分】

東中生徒会 JRC、カトリック幼稚園
畠山義彦さん(松峰)
桂城小、釈迦内小、川口小、南小、成童小、上川治小、雪沢小中、花岡小、長走小、南中、矢立小、矢立中、第一中、第二中、成童中、花岡中、森吉中、長木小、城南小、城西小、阿仁一中

以上の方々から 水彩セット580名分
書道セット129名分
三菱鉛筆東北販売株式会社秋田支店 鉛筆 1,418本
(以上は1月15日現在のものです)

今月は

固定資産税第4期の

納期です



市では、昭和45年から市制施行20周年を記念して、大館市史編さん事業をすすめてきましたが、このたび全5巻(第1巻「原始、古代、中世編」第2巻「近世編」第3巻「近、現代編」第4巻「民俗、文化編」第5巻「年表、索引編」)のうち第2巻「近世編」一江戸時代一を刊行のはこびとなりました。

つきましては、広く市民の皆さんに購読していただき、今その予約を受付しております。本の内容等は次のとおりです。

<本の内容>

第1章 「佐竹氏の秋田移封と大館」

佐竹氏の秋田移封後の政治及び大館、十二所の城を中心としたまちづくり、南部藩との領境問題等、江戸時代前期の状況

第2章 「大館佐竹領内の経営」

大館市史第2巻「近世編」を予約受付—2月15日まで—

佐竹西家と称された大館佐竹氏の領内経営や新田開発と、そこに生きた農民の生活の様子

第3章 「二井田村と昌益」

江戸時代中期の大館地方の農民の生活実態と日本の代表的思想家である安藤昌益に関する二井田村の一大事件等

第4章 「戊辰戦争と大館」

幕末期の佐竹藩の蝦夷地警備の実態や、大館地方を一面焦土とした南部藩との戊辰戦争の経過と実態

第5章 「林業と商業」

佐竹藩の大きな産業であった大館地方の林業行政の実態や、商工業の発達、交通の発達等

第6章 「学問とその振興」

大館博文書院と十二所成章書院を中心とした江戸時代の大館の学問と寺子屋などの教育や、諸学問につくした学者、文人等について

第7章 「寺社の沿革」

旧大館及び十二所の寺社と江戸時代のキリシタンについて

<監修者>

一つ橋大学教授 佐々木 潤之介氏
指導顧問 中央大学教授 中田 易直氏
秋田高専教授 高橋 秀夫氏

<本の体裁>

A5判、活版印刷、箱入上製本、500頁、図写真30枚、表35枚

<頒布価格>

印刷部数により価格が左右されるので現在のところ未定ですが、3,000円から5,000円の範囲内と見込まれます。

<申込み方法と申込み先>

官製ハガキに住所、氏名、電話番号、それに申込み部数を明記のうえ
大館市三の丸13-1
「大館市史編さん委員会」へお申込みください

<予約締切>

昭和52年2月15日(火)

<配本予定>

昭和52年6月